

2024年度 共済事業にかかる認知度等調査結果報告

日本共済協会 企画部

はじめに

共済事業を実施する団体や保険会社では、事業の特性に応じた広報・情報発信を行っています。こうした情報発信や実際の事業運営を通じた組合員・利用者等との関わりの結果、組合員・利用者等を含む一般の方が、どのように協同組合共済や保険を認知しているのかを調査することにより、共済事業が広く支持を得て発展するために必要な知見を求めることを目的として、2021年3月に当協会として初めての意識調査を実施しました。

2022年12月に実施した第2回目の調査では、第1回目調査との時系列での比較が容易となるように留意しつつ、選択肢の内容を明確にする等のために調査項目数と調査項目の一部に変更を行いました。また、2024年12月に実施した第3回目となる今回の調査では、調査対象者数を2,000人に変更しました。

本稿では、第3回目の調査¹結果における主な内容および3回にわたる調査結果の時系列での比較をご紹介します。

1 一般社団法人 日本共済協会 「2024年度 共済事業にかかる認知度等調査」
<https://www.jcia.or.jp/action/research.html>

I 調査の実施概要

1. 調査名

2024年度 共済事業にかかる認知度等調査

2. 調査目的

共済事業への一般消費者の認知と関心を調査することをもって、共済事業が広く国民の支持を得て発展するために必要な知見を求める。

3. 調査方法

公益財団法人日本生産性本部によるインターネット調査
(楽天インサイト株式会社の所有モニターに対する調査)

4. 調査時期

2024年12月2日～12月3日

5. 調査設問

25問

<主な調査項目>

- ① 回答者属性 (性別、年齢、職業、年収、居住都道府県など)
- ② 消費行動における価値観
- ③ 相互扶助の重要性
- ④ 保険・共済における利益の使途に関する認識
- ⑤ 保険・共済との接点 (情報チャネル、契約チャネル)
- ⑥ 加入者が保険・共済を周囲にすすめるために重要な要素 (商品の評価、企業の評価、すすめやすさの評価)
- ⑦ 未加入者が保険・共済へ加入するために重要な要素 (商品の評価、企業の評価)

6. 調査対象者

2,000人

※ 対象者は20～60歳代の日本在住者とし、性別、年齢（10歳ごと）、都道府県で割付。割付は国勢調査（2020年）に基づき比率配分。

※ 有効回答者数1,923人。

II 調査結果概要²

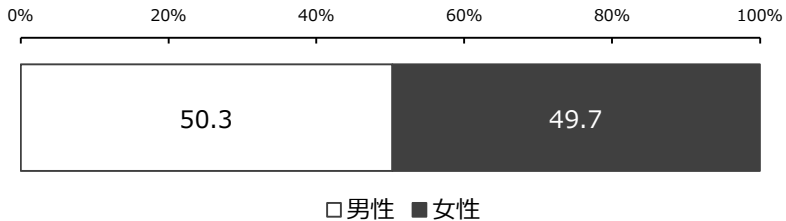
1. 回答者の基本属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」が50.3%、「女性」49.7%であった。

図表Ⅱ－1－1 性別

(n=1923)

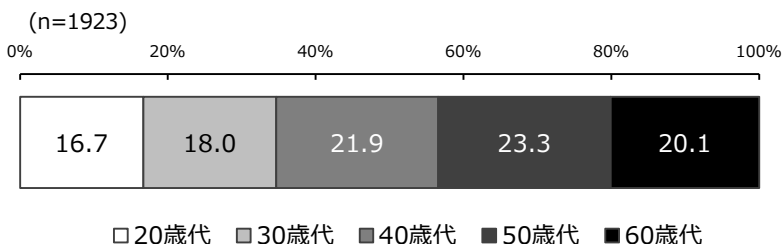


2 本調査は、共済の加入者に限定せずに広く日本在住者を対象とし、共済と保険を合わせて質問する際には、認知度の差等による回答時のバイアスを回避するため、「保険や共済」等と表示して質問を行った。このため、調査結果報告の記述に際しては、保険・共済の順を基本とするなど質問の表示に合わせている。また、構成比の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にはならない場合がある。

(2) 年代

回答者の年代については、「20歳代」16.7%、「30歳代」18.0%、「40歳代」21.9%、「50歳代」23.3%、「60歳代」20.1%であった。

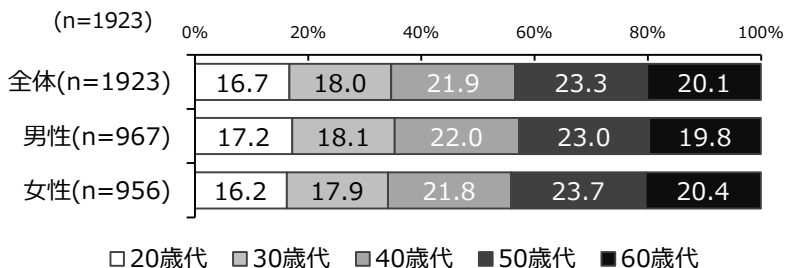
図表Ⅱ－1－2 年代別



(3) 性・年代

回答者の性・年代別構成については、「男性20歳代」17.2%、「男性30歳代」18.1%、「男性40歳代」22.0%、「男性50歳代」23.0%、「男性60歳代」19.8%、「女性20歳代」16.2%、「女性30歳代」17.9%、「女性40歳代」21.8%、「女性50歳代」23.7%、「女性60歳代」20.4%であった。

図表Ⅱ－1－3 性・年代別

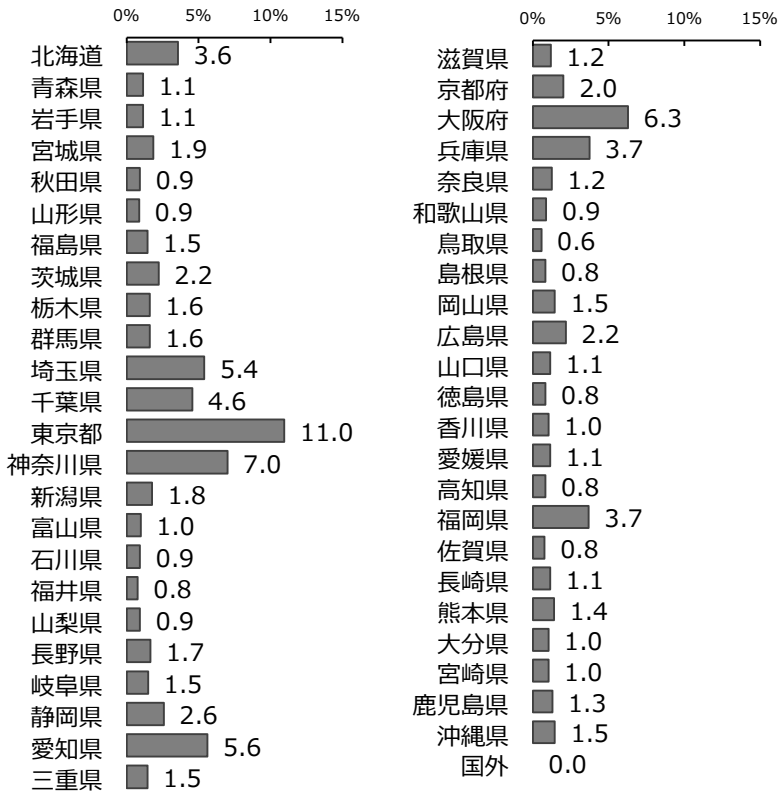


(4) 居住地

回答者の居住地については、「東京都」11.0%、「神奈川県」7.0%、「埼玉県」5.4%、「千葉県」4.6%であり、関東地方における1都3県で28.0%を占めた。また、「大阪府」6.3%、「兵庫県」3.7%、「京都府」2.0%であり、近畿地方における2府1県で12.0%であった。

図表Ⅱ－1－4 居住地

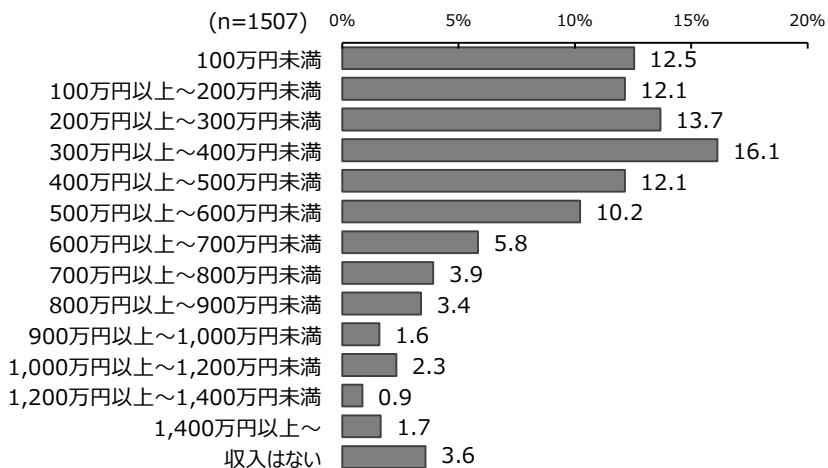
(n=1923)



(5) 年収

回答者における年収別割合では、最も割合が高いのは「300万円以上～400万円未満」16.1%、次いで「200万円以上～300万円未満」13.7%、「100万円未満」12.5%、「100万円以上～200万円未満」12.1%、「400万円以上～500万円未満」12.1%であり、500万円未満の層で66.5%を占めた。

図表Ⅱ－１－５ 個人年収

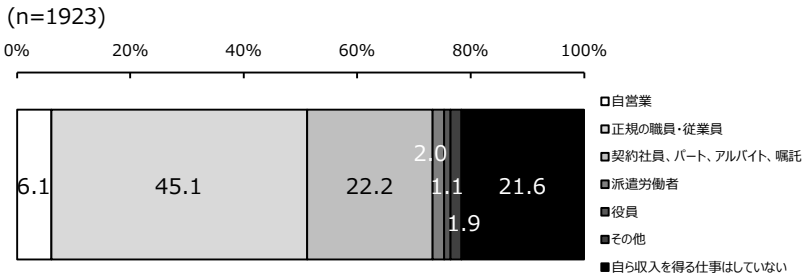


注) Q1で「自営業」「正規の職員・従業員」「契約社員、パート、アルバイト、嘱託」「派遣労働者」「役員」「その他」とした方のみ

(6) 職業

回答者の職業を聞いたところ (Q1)、「自営業」6.1%、「正規の職員・従業員」45.1%、「契約社員、パート、アルバイト、嘱託」22.2%、「派遣労働者」2.0%、「役員」1.1%、「その他」1.9%「自ら収入を得る仕事はしていない」21.6%であった。

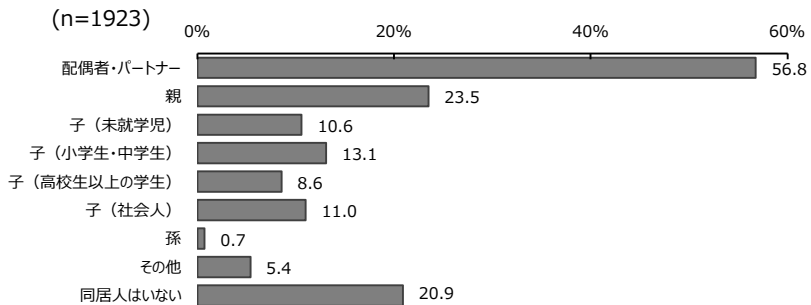
図表Ⅱ－1－6 職業（Q1）



(7) 同居者

同居者について聞いたところ（Q2、複数選択）、「配偶者・パートナー」56.8%、「親」23.5%、「子（未就学児）」10.6%、「子（小学生・中学生）」13.1%、「子（高校生以上の学生）」8.6%、「子（社会人）」11.0%、「孫」0.7%、「その他」5.4%、「同居人はいない」20.9%であった。

図表Ⅱ－1－7 同居者＜義理の関係を含む＞（Q2）



2. 共済事業に対する認知度等の現状

(1) 生活・消費スタイル

生活・消費に関する19の項目について自分にどの程度当てはまるかを、それぞれ「該当する」「やや該当する」「どちらとも言えない」「あまり該当しない」「該当しない」の5段階で選択してもらった(Q3)。

「1. 環境に配慮した生活を送りたい」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて48.9%、「どちらとも言えない」32.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると18.1%であった。

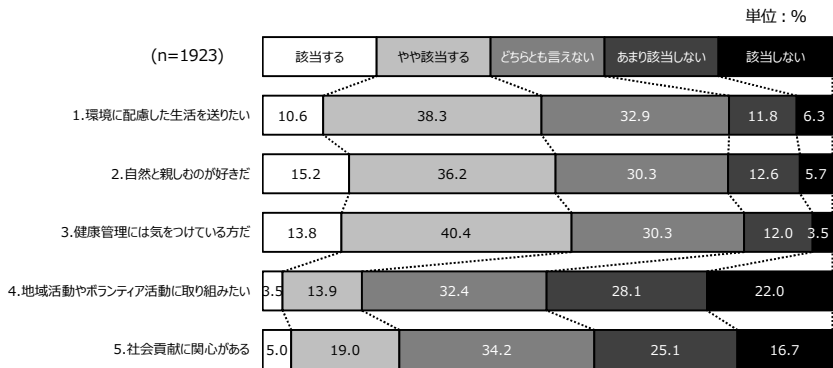
「2. 自然と親しむのが好きだ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて51.4%、「どちらとも言えない」30.3%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると18.3%であった。

「3. 健康管理には気をつけている方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて54.2%、「どちらとも言えない」30.3%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると15.5%であった。

「4. 地域活動やボランティア活動に取り組みたい」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて17.4%、「どちらとも言えない」32.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると50.1%であった。

「5. 社会貢献に関心がある」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて24.0%、「どちらとも言えない」34.2%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると41.8%であった。

図表Ⅱ－２－１－① 生活・消費スタイル（Ｑ３）



「6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて47.7%、「どちらとも言えない」29.3%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると23.1%であった。

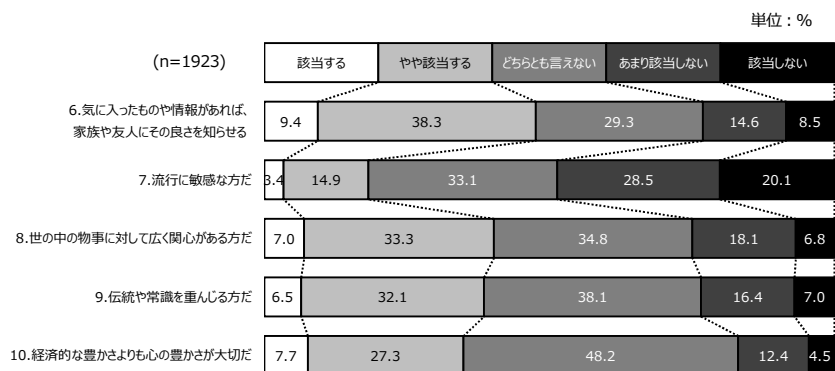
「7.流行に敏感な方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて18.3%、「どちらとも言えない」33.1%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると48.6%であった。

「8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて40.3%、「どちらとも言えない」34.8%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると24.9%であった。

「9.伝統や常識を重んじる方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて38.6%、「どちらとも言えない」38.1%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると23.4%であった。

「10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて35.0%、「どちらとも言えない」48.2%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると16.9%であった。

図表Ⅱ－２－１－② 生活・消費スタイル（Q3）



「11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて17.6%、「どちらとも言えない」40.8%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると41.6%であった。

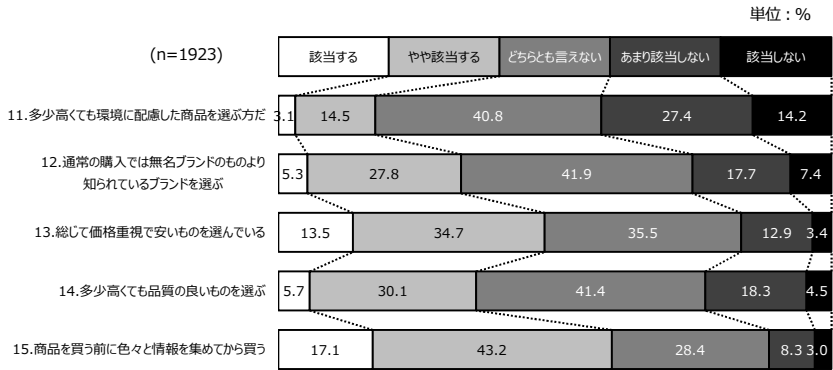
「12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて33.1%、「どちらとも言えない」41.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると25.1%であった。

「13. 総じて価格重視で安いものを選んでいる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて48.2%、「どちらとも言えない」35.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると16.3%であった。

「14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて35.8%、「どちらとも言えない」41.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると22.8%であった。

「15. 商品を買う前に色々情報を集めてから買う」については「該当する」「やや該当する」を合わせて60.3%、「どちらとも言えない」28.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると11.3%であった。

図表Ⅱ－２－１－③ 生活・消費スタイル（Ｑ３）



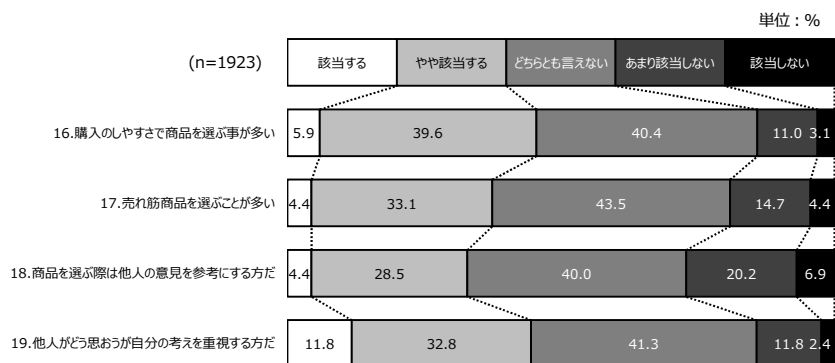
「16. 購入のしやすさで商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて45.5%、「どちらとも言えない」40.4%、「該当しない」「あまり該当しない」を合わせると14.1%であった。

「17. 売れ筋商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて37.5%、「どちらとも言えない」43.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると19.1%であった。

「18. 商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて32.9%、「どちらとも言えない」40.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると27.1%であった。

「19. 他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて44.6%、「どちらとも言えない」41.3%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると14.2%であった。

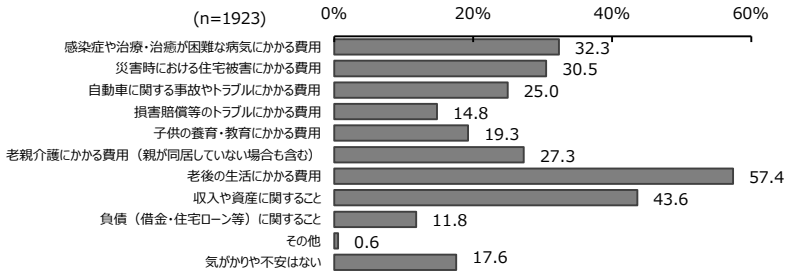
図表Ⅱ－２－１－④ 生活・消費スタイル（Ｑ３）



(2) 日常生活における気がかりなことや不安に思うこと

日常生活における気がかりなことや不安に思うことについて聞いたところ（Ｑ４、複数選択）、「老後の生活にかかる費用」57.4%、「収入や資産に関すること」43.6%、「感染症や治療・治癒が困難な病気にかかる費用」32.3%、「災害時における住宅被害にかかる費用」30.5%、「老親介護にかかる費用（親が同居していない場合も含む）」27.3%、「自動車に関する事故やトラブルにかかる費用」25.0%、「子供の養育・教育にかかる費用」19.3%、「損害賠償等のトラブルにかかる費用」14.8%、「負債（借金・住宅ローン等）に関すること」11.8%、「その他」0.6%、「気がかりや不安はない」17.6%であった。

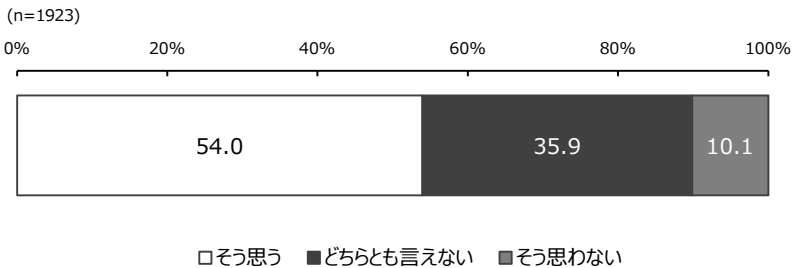
図表Ⅱ－２－２ 日常生活における気がかりや不安（Ｑ４）



(3) 保険や共済の仕組みにみられるような助け合いの重要性

保険や共済におけるような助け合いの精神の重要性について（Ｑ５）、「そう思う」「そう思わない」「どちらとも言えない」で聞いたところ、「そう思う」54.0%、「どちらとも言えない」35.9%、「そう思わない」10.1%であった。

図表Ⅱ－２－３ 助け合いの重要性（Ｑ５）

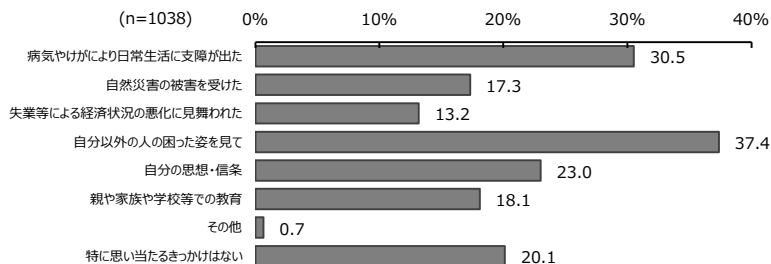


(4) 助け合いが重要だと考えたきっかけ

助け合いが重要だと考えたきっかけについて聞いたところ（Q6、複数選択）、「自分以外の人の困った姿を見て」37.4%、「病气やけがにより日常生活に支障が出た」30.5%、「自分の思想・信条」23.0%、「親や家族や学校等での教育」18.1%、「自然災害の被害を受けた」17.3%、「失業等による経済状況の悪化に見舞われた」13.2%、「その他」0.7%、「特に思い当たるきっかけはない」20.1%であった。

「自分以外の人の困った姿を見て」という経験をきっかけとする割合が最も高く、次いで「病气やけがにより日常生活に支障が出た」が高い割合を示している。

図表Ⅱ－２－４ 助け合いが重要だと考えたきっかけ（Q6）

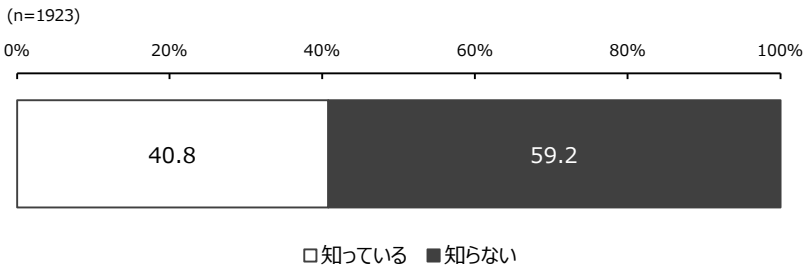


注) Q5で「そう思う」と回答した方のみ回答

(5) 共済に加入する際に組合員であることが必要であることの認知

共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているかどうかを聞いたところ（Q7）、「知っている」40.8%、「知らない」59.2%であった。

図表Ⅱ－２－５ 共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているか（Q7）

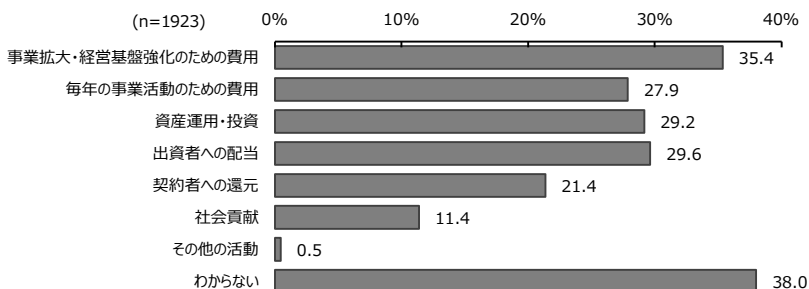


(6) 保険会社があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

保険会社があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ（Q8、複数選択）、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」35.4%、「出資者への配当」29.6%、「資産運用・投資」29.2%、「毎年の事業活動のための費用」27.9%、「契約者への還元」21.4%、「社会貢献」11.4%、「その他の活動」0.5%、「わからない」38.0%であった。

保険の利益使途のイメージについて最も多かったのが、「わからない」、次いで「事業拡大・経営基盤強化のための費用となっている」。

図表Ⅱ－２－６ 保険会社の利益使途にかかるイメージ（Ｑ８）

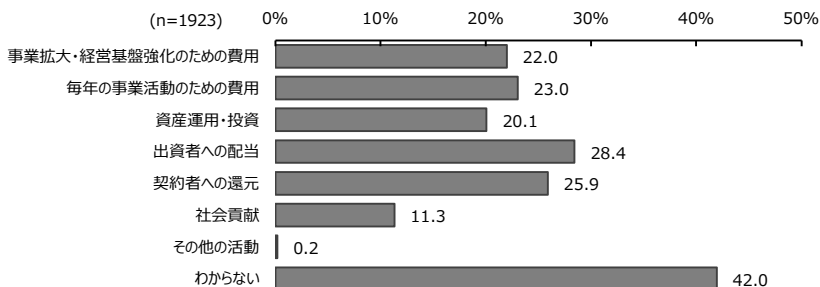


(7) 共済があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

共済があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ（Ｑ９、複数選択）、「出資者への配当」28.4%、「契約者への還元」25.9%、「毎年の事業活動のための費用」23.0%、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」22.0%、「資産運用・投資」20.1%、「社会貢献」11.3%、「その他の活動」0.2%、「わからない」42.0%であった。

共済の利益使途のイメージについて最も多かったのが「わからない」であり、次いで「出資者への配当」となっている。

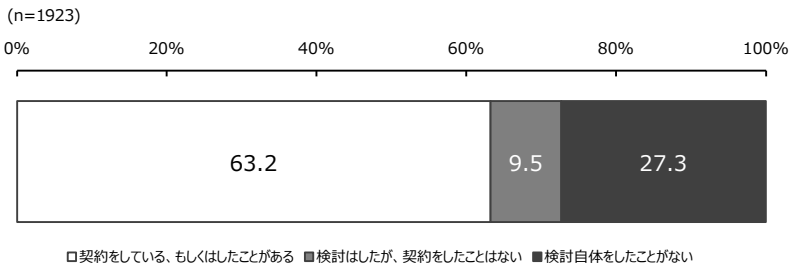
図表Ⅱ－２－７ 共済の利益使途にかかるイメージ（Ｑ９）



(8) 保険や共済の契約経験の有無

これまでの保険・共済の契約経験の有無を聞いたところ（Q10）、「契約をしている、もしくはしたことがある」63.2%、「検討はしたが、契約をしたことはない」9.5%、「検討自体をしたことがない」27.3%であった。

図表Ⅱ－２－８ 保険・共済の契約経験の有無（Q10）

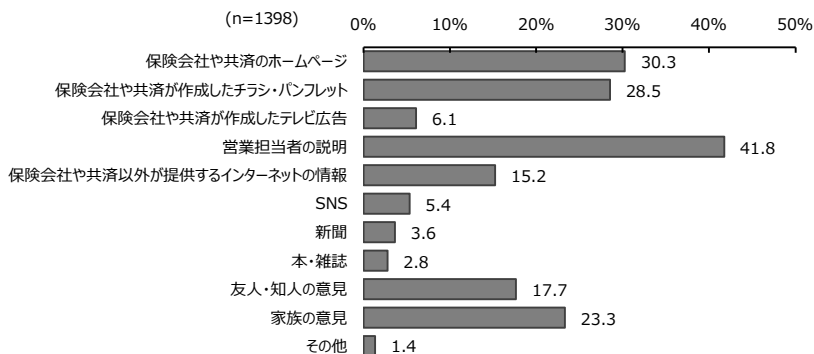


(9) 契約を検討した際に重視した情報

保険や共済の契約を検討した際に重視した情報を聞いたところ（Q11、複数選択）、「営業担当者の説明」41.8%、「保険会社や共済のホームページ」30.3%、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」28.5%、「家族の意見」23.3%、「友人・知人の意見」17.7%、「保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報」15.2%、「保険会社や共済が作成したテレビ広告」6.1%、「SNS」5.4%、「新聞」3.6%、「本・雑誌」2.8%、「その他」1.4%であった。

重視された上位3つは「営業担当者の説明」、「保険会社や共済のホームページ」、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」であり、次いで「家族の意見」「知人・友人の意見」となっている。

図表Ⅱ－２－９ 保険・共済の契約を検討した際に重視した情報（Q11）



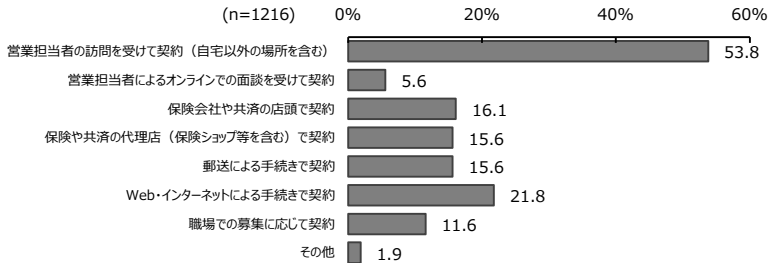
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

(10) これまでに保険や共済の契約をした場面

これまでに保険や共済の契約をした場面を聞いたところ（Q12、複数選択）、「営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）」53.8%、「Web・インターネットによる手続きで契約」21.8%、「保険会社や共済の店頭で契約」16.1%、「保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で契約」15.6%、「郵送による手続きで契約」15.6%、「職場での募集に応じて契約」11.6%、「営業担当者によるオンラインでの面談を受けて契約」5.6%、「その他」1.9%であった。

「営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）」の割合が最も高く、次いで「Web・インターネットによる手続きで契約」が高くなっている。

図表Ⅱ－2－10 保険・共済の契約場面（Q12）



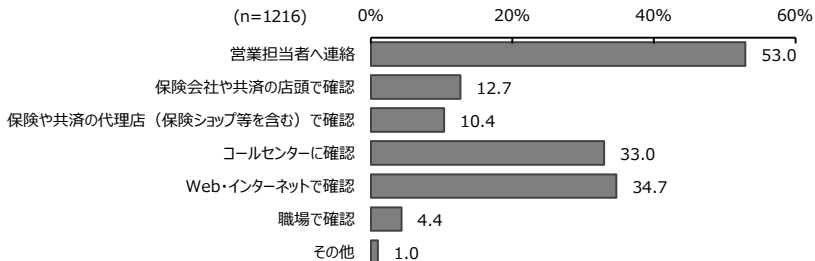
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(1) 加入後の疑問の確認方法

保険や共済に加入した後に手続きや疑問が発生した場合の確認方法を聞いたところ (Q13、複数選択)、「営業担当者への連絡」53.0%、「Web・インターネットで確認」34.7%、「コールセンターに確認」33.0%、「保険会社や共済の店頭で確認」12.7%、「保険や共済の代理店 (保険ショップ等を含む) で確認」10.4%、「職場で確認」4.4%、「その他」1.0%であった。

「営業担当者への連絡」が最も高く、次いで「Web・インターネットで確認」、「コールセンターに確認」という、利用者側の利便性の高い方法がとられている。

図表Ⅱ－2－11 保険・共済加入後の疑問の確認方法（Q13）



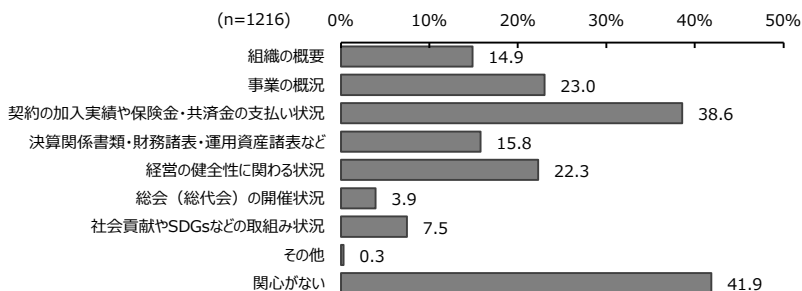
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(12) 保険や共済について関心のある情報

保険や共済が公開している経営状況や健全性、社会貢献活動などについて関心のある情報を聞いたところ（Q14、複数選択）、「契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況」38.6%、「事業の概況」23.0%、「経営の健全性に関わる状況」22.3%、「決算関係書類・財務諸表・運用資産諸表など」15.8%、「組織の概要」14.9%、「社会貢献やSDGsなどの取組み状況」7.5%、「総会（総代会）の開催状況」3.9%、「その他」0.3%、「関心がない」41.9%であった。

「関心がない」の割合が最も高くなっており、次いで「契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況」の割合が高い。

図表Ⅱ－２－12 保険・共済が公開している情報の中で関心のあるもの（Q14）



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(13) 実際に契約している保険・共済商品への考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q17）。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて68.6%、「どちらとも言えない」25.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると6.4%であった。

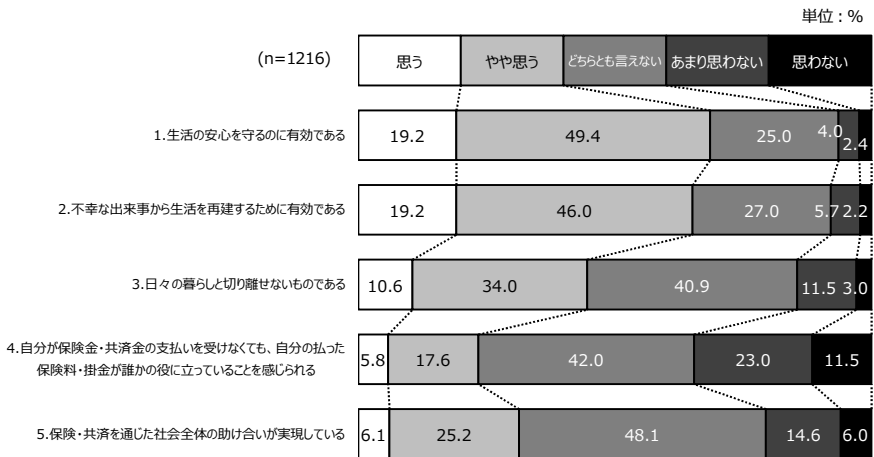
「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて65.2%、「どちらとも言えない」27.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると7.9%であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.6%、「どちらとも言えない」40.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.5%であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていることを感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.4%、「どちらとも言えない」42.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると34.5%であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.3%、「どちらとも言えない」48.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.6%であった。

図表Ⅱ－2－13－① 保険・共済商品についての考え<最新の契約について>
(Q17)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.2%、「どちらとも言えない」40.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.6%であった。

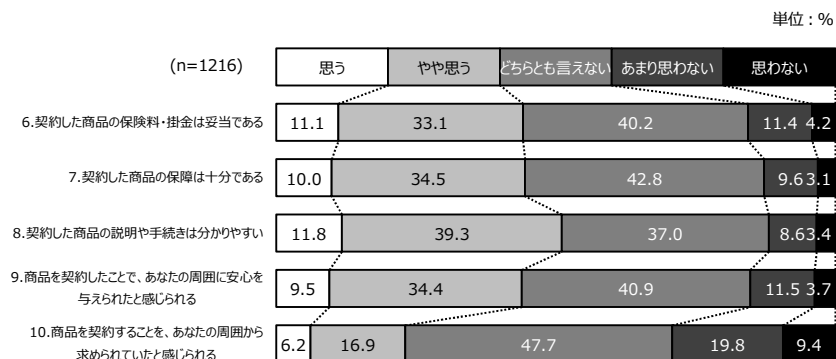
「7. 契約した商品の保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.5%、「どちらとも言えない」42.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると12.7%であった。

「8. 契約した商品の説明や手続きは分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて51.1%、「どちらとも言えない」37.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると12.0%であった。

「9. 商品を契約したことで、あなたの周囲に安心を与えられたと感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて43.9%、「どちらとも言えない」40.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.2%であった。

「10. 商品を契約することを、あなたの周囲から求められていたと感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.1%、「どちらとも言えない」47.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると29.2%であった。

図表Ⅱ－2－13－② 保険・共済商品についての考え<最新の契約について>
(Q17)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(14) 実際に契約している保険・共済商品の提供企業への考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）の提供企業についての考えを聞いた（Q18）。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて57.9%、「どちらとも言えない」37.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると4.5%であった。

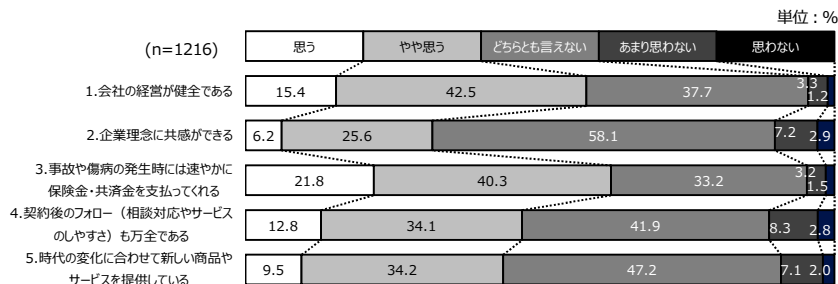
「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.8%、「どちらとも言えない」58.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると10.1%であった。

「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて62.1%、「どちらとも言えない」33.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると4.7%であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて46.9%、「どちらとも言えない」41.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.1%であった。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて43.7%、「どちらとも言えない」47.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.1%であった。

図表Ⅱ-2-14-① 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「6. 商品やサービスについて「わかりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて51.7%、「どちらとも言えない」39.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.0%であった。

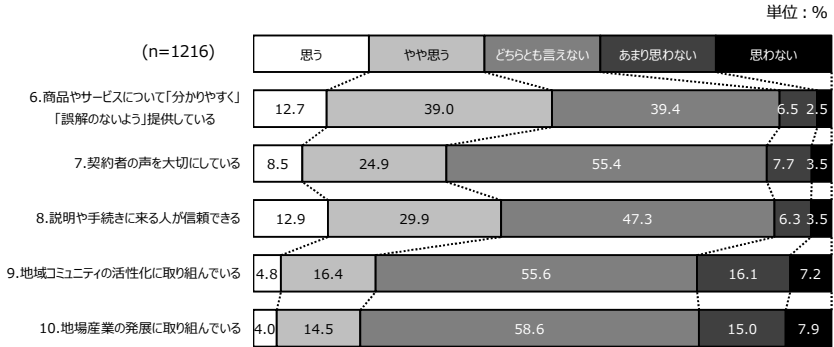
「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて33.4%、「どちらとも言えない」55.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.2%であった。

「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて42.8%、「どちらとも言えない」47.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.8%であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて21.2%、「どちらとも言えない」55.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.3%であった。

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.5%、「どちらとも言えない」58.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.9%であった。

図表Ⅱ－２－14－② 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.9%、「どちらとも言えない」58.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.7%であった。

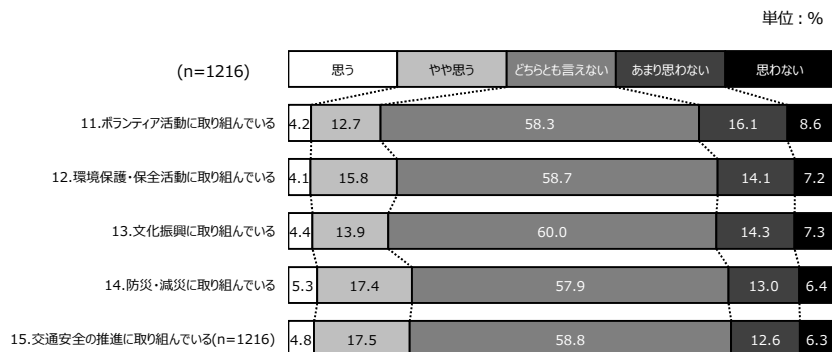
「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.9%、「どちらとも言えない」58.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.3%であった。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.3%、「どちらとも言えない」60.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.6%であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.7%、「どちらとも言えない」57.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.4%であった。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.3%、「どちらとも言えない」58.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.9%であった。

図表Ⅱ－２－14－③ 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



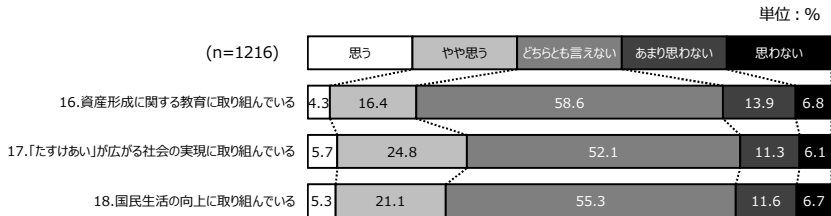
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.7%、「どちらとも言えない」58.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.7%であった。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.5%、「どちらとも言えない」52.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.4%であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて26.4%、「どちらとも言えない」55.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.3%であった。

図表Ⅱ－２－14－④ 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(15) 実際に契約している最も新しい契約についての考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q19）。

「1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.2%、「どちらとも言えない」43.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.1%であった。

「2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.7%、「どちらとも言えない」39.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると27.6%であった。

「3. その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.8%、「どちらとも言えない」43.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると38.1%であった。

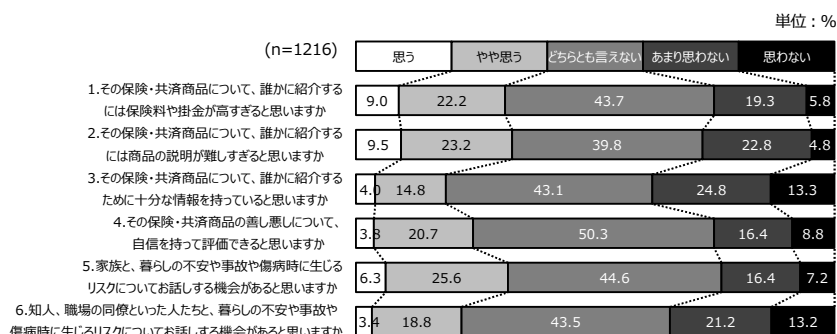
「4. その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.5%、「どちらとも言えない」50.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.2%

であった。

「5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.9%、「どちらとも言えない」44.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.6%であった。

「6. 知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.2%、「どちらとも言えない」43.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると34.4%であった。

図表Ⅱ-2-15-① 保険・共済への考え<最新の契約について> (Q19)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

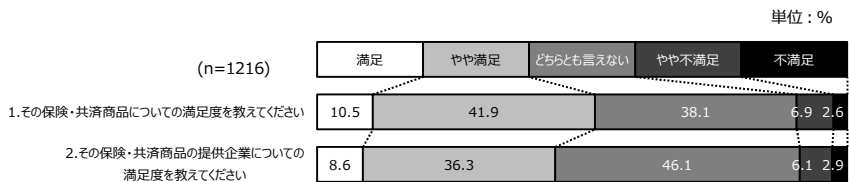
(16) 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての満足度

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）(Q16)・提供企業についての満足度を聞いた(Q20)。

「1. その保険・共済商品についての満足度を教えてください」については、「満足」「やや満足」を合わせて52.4%、「どちらとも言えない」38.1%、「やや不満足」「不満足」を合わせると9.5%であった。

「2. その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください」については、「満足」「やや満足」を合わせて44.9%、「どちらとも言えない」46.1%、「やや不満足」「不満足」を合わせると9.0%であった。

図表Ⅱ－2－16 保険・共済の満足度<最新の契約について> (Q20)



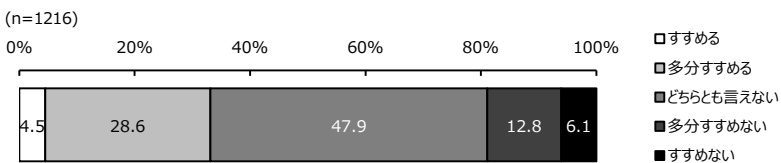
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(17) 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての推奨意向

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）(Q16) についての推奨意向を聞いた (Q21)。

「すすめる」「多分すすめる」を合わせて33.1%、「どちらとも言えない」47.9%、「多分すすめない」「すすめない」を合わせると18.9%であった。

図表Ⅱ－2－17 保険・共済の推奨意向<最新の契約について> (Q21)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(18) 契約をしたことがない人の保険・共済商品への考え

保険・共済契約をしたことがない人へ保険・共済商品についての考えを聞いた (Q22)。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて35.3%、「どちらとも言えない」47.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.7%であった。

「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて37.7%、「どちらとも言えない」45.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.8%であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.3%、「どちらとも言えない」53.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.4%であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.0%、「どちらとも言えない」50.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると31.1%であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.1%、「どちらとも言えない」56.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.5%であった。

図表Ⅱ－2－18－① 保険・共済商品への考え<契約をしたことがない人>
(Q22)

	単位：%				
	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.生活の安心を守るのに有効である	7.2	28.1	47.9	10.6	6.1
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	7.9	29.8	45.4	11.0	5.8
3.日々の暮らしと切り離せないものである	4.1	20.2	53.3	14.3	8.1
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	3.1	14.9	50.9	18.2	12.9
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	3.7	18.4	56.4	14.0	7.5

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

「6. 保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.7%、「どちらとも言えない」55.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.9%であった。

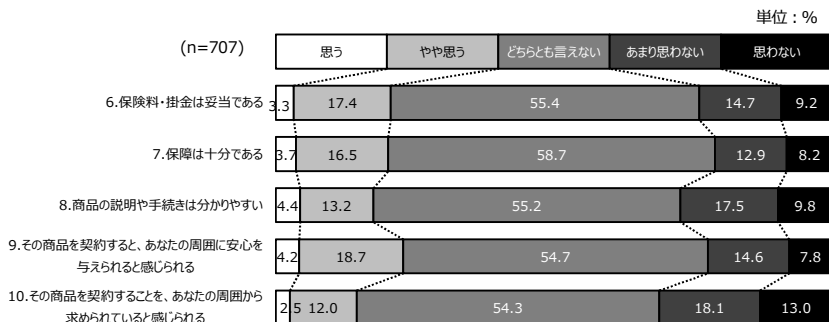
「7. 保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.2%、「どちらとも言えない」58.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.1%であった。

「8. 商品の説明や手続きは分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.6%、「どちらとも言えない」55.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると27.3%であった。

「9. その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.9%、「どちらとも言えない」54.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.4%であった。

「10. その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.5%、「どちらとも言えない」54.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると31.1%であった。

図表Ⅱ－2－18－② 保険・共済商品への考え<契約をしたことがない人>
(Q22)



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

(19) 契約をしたことがない人の保険・共済商品の提供企業についての考え

保険・共済契約をしたことがない人へ保険や共済商品の提供企業についての考えを聞いた（Q23）。

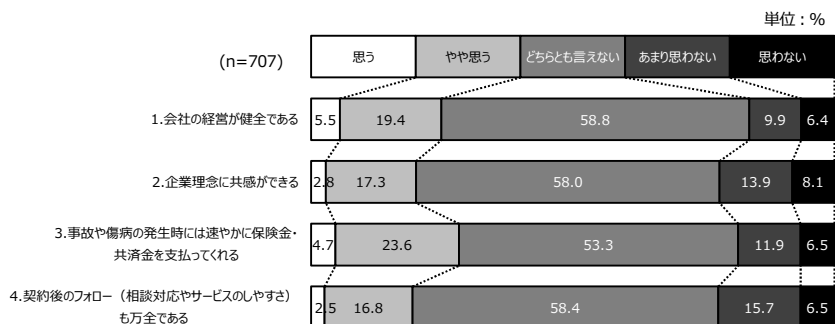
「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.9%、「どちらとも言えない」58.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.3%であった。

「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.1%、「どちらとも言えない」58.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.0%であった。

「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて28.3%、「どちらとも言えない」53.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.4%であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.3%、「どちらとも言えない」58.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.2%であった。

図表Ⅱ－2－19－① 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人>（Q23）



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない」とした方のみ回答

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.1%、「どちらとも言えない」58.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.0%であった。

「6. 商品やサービスについて「わかりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.8%、「どちらとも言えない」59.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.5%であった。

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.4%、「どちらとも言えない」59.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.5%であった。

「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.5%、「どちらとも言えない」59.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.7%であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.8%、「どちらとも言えない」60.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.7%であった。

図表Ⅱ－2－19－② 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人> (Q23)

単位：%

(n=707)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	4.4	18.7	58.0	13.3	5.7
6.商品やサービスについて「わかりやすく」「誤解のないよう」提供している	3.7	15.1	59.7	14.3	7.2
7.契約者の声を大切にしている	3.7	16.7	59.1	13.3	7.2
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	4.1	16.4	59.8	11.9	7.8
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	3.4	14.4	60.4	13.4	8.3

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない」とした方のみ回答

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.1%、「どちらとも言えない」59.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.9%であった。

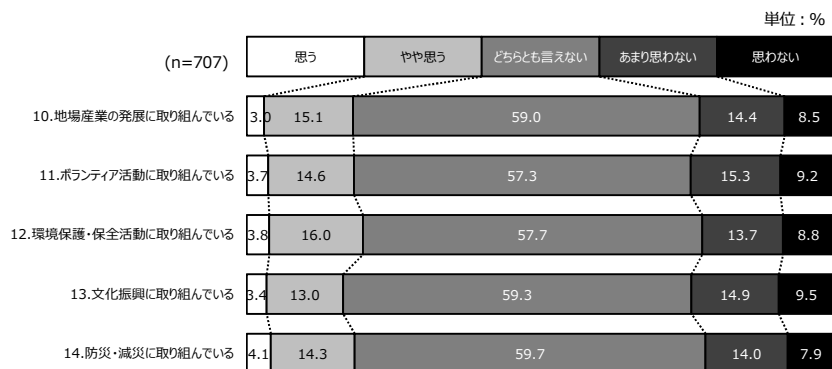
「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.3%、「どちらとも言えない」57.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.5%であった。

「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.8%、「どちらとも言えない」57.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.5%であった。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.4%、「どちらとも言えない」59.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.4%であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.4%、「どちらとも言えない」59.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.9%であった。

図表Ⅱ－２－19－③ 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人> (Q23)



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

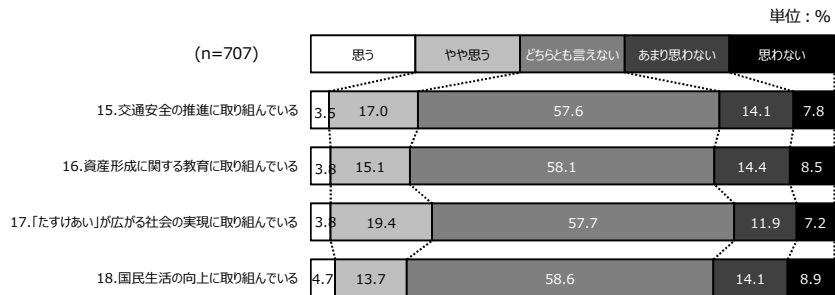
「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.5%、「どちらとも言えない」57.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.9%であった。

「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.9%、「どちらとも言えない」58.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.9%であった。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.2%、「どちらとも言えない」57.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.1%であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.4%、「どちらとも言えない」58.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.0%であった。

図表Ⅱ－2－19－④ 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人> (Q23)



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない」とした方のみ回答

Ⅲ 主な項目にかかるこれまでの調査（2020年度、2022年度）との経年比較

本調査は時系列で行うものとして位置づけ、2020年度から約2年ごとに実施し、今回で3回目の調査となった。

本節では選択割合を示す数値を用いての詳述は行わずに、大まかな傾向を捉えて概括しての記述を行うものとし、これまでの調査と比較して特徴が見られた主な項目について紹介する。なお、今回の調査では、調査対象者数をこれまでの4,000人から2,000人に変更したため、比較結果については取扱いに注意を要するものとしてご理解をいただきたい。

1. 生活・消費スタイル

(1) 生活スタイル

「あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。」との質問に対して、「該当する」「やや該当する」の合計では、特に、「1. 環境に配慮した生活を送りたい」「2. 自然と親しむのが好きだ」「3. 健康管理には気をつけている方だ」「4. 地域活動やボランティア活動に取り組みたい」「5. 社会貢献に関心がある」といった社会との関わりや生活の余裕を示す生活スタイルを選択する人の割合が低下してきている。

第1回と第2回調査の比較の際にはやや上昇していた、「6. 気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる」「9. 伝統や常識を重んじる方だ」「10. 経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ」の3項目は、今回調査では低下しており、身近な人との関わり、保守的な価値観や心の豊かさを重視する人の割合も低下した。

図表Ⅲ－１－１ 生活スタイル（Ｑ３）

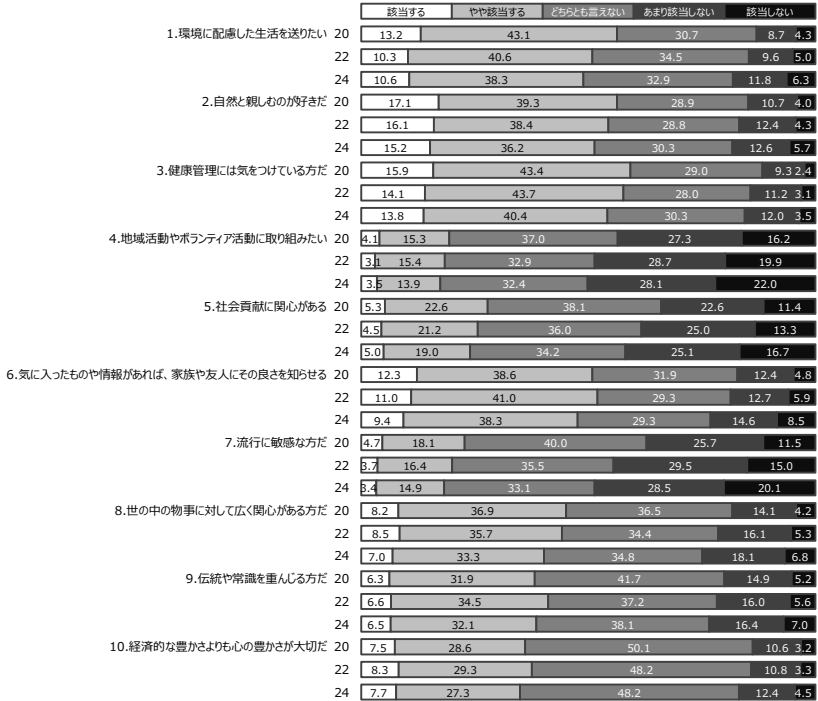
Ｑ3. あなたの生活・消費スタイルをお答えください。

2020年度(n=3891)

2022年度(n=3880)

2024年度(n=1923)

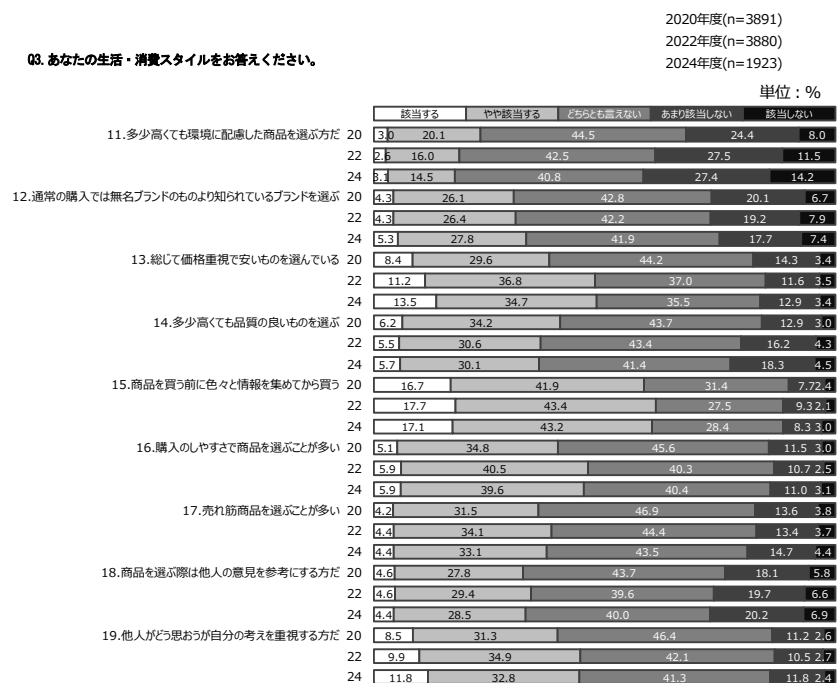
単位：%



(2) 消費スタイル

「あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。」との質問に対して、「該当する」「やや該当する」の合計でみると、「11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ」「14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ」とする人の割合は低下した。調査開始以降、「12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ」とする人の割合はやや上昇し、「13. 総じて価格重視で安いものを選んでいる」とする人の割合は、上昇してきている。

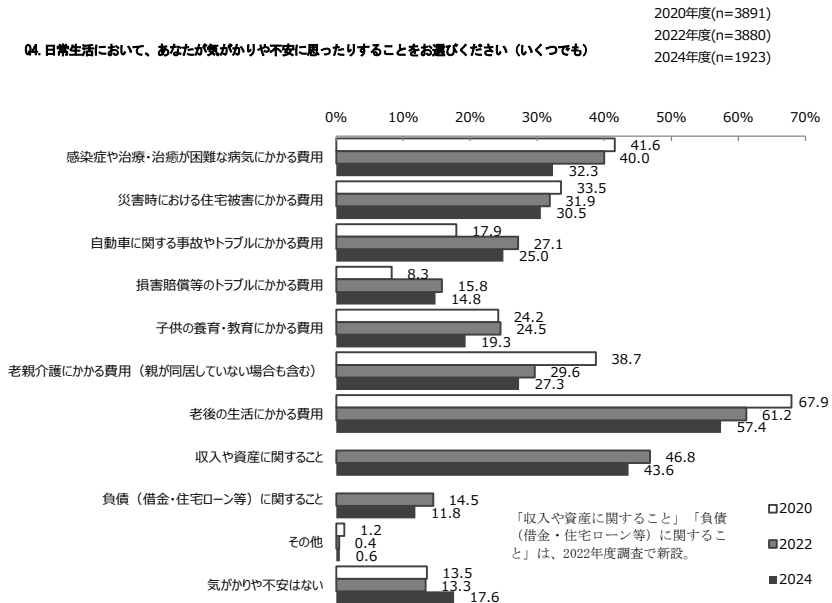
図表Ⅲ－１－２ 消費スタイル（Q3）



2. 日常生活における気がかりなことや不安に思うこと

「日常生活において、あなたが気がかりや不安に思ったりすることをお選びください。(いくつでも)」との質問については、前回調査(2022年度)との比較では、「気がかりや不安はない」を除き、全ての選択肢において低下した。

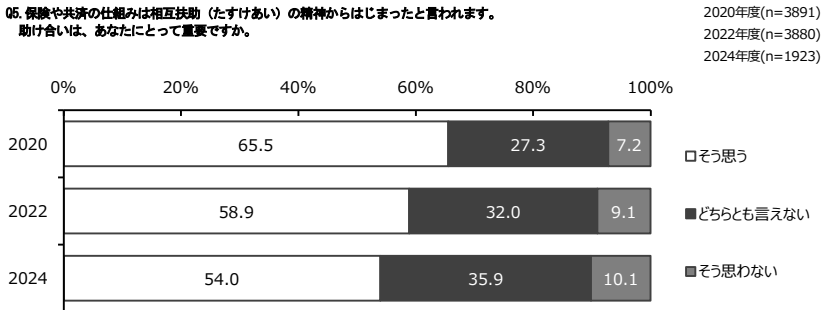
図表Ⅲ－2 日常生活における気がかりや不安(Q4)



3. 保険や共済の仕組みにみられるような助け合いの重要性

「保険や共済のしくみは相互扶助（たすけあい）の精神からはじまったといわれています。助け合いは、あなたにとって重要ですか。」との質問に対して、「そう思う」とする人の割合は低下してきている。

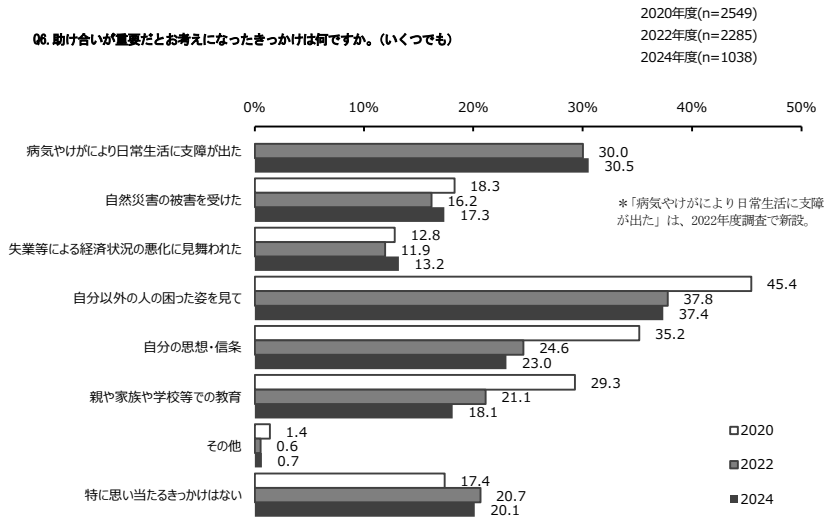
図表Ⅲ－3 助け合いの重要性（Q5）



4. 助け合いが重要だと考えたきっかけ

「助け合いが重要だとお考えになったきっかけは何ですか。(いくつでも)」との質問に対して、前回調査(2022年度)との比較では、「病気やけがにより日常生活に支障が出た」「自然災害の被害を受けた」「失業等による経済状況の悪化に見舞われた」といった自身に生じた身近な出来事によるきっかけが上昇しているが、「自分以外の人の困った姿を見て」「自分の思想・信条」「親や家族や学校等での教育」「特に思い当たるきっかけはない」では低下している。

図表Ⅲ-4 助け合いが重要だと考えたきっかけ(Q6)

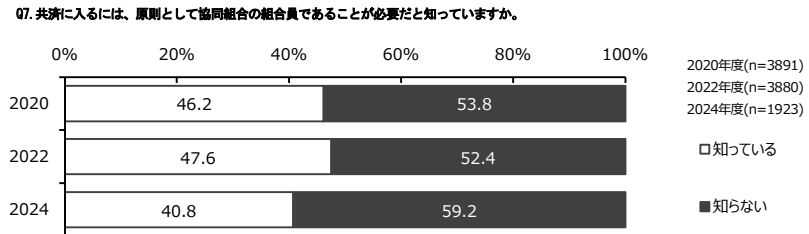


* Q5で「そう思う」とした方のみ回答

5. 共済に加入する際に組合員であることが必要であることの認知

「共済に入るには、原則として協同組合の組合員であることが必要だと知っていますか。」という認知度に関する質問に対する回答では、「知っている」とする人の割合が40.8%へと低下した。

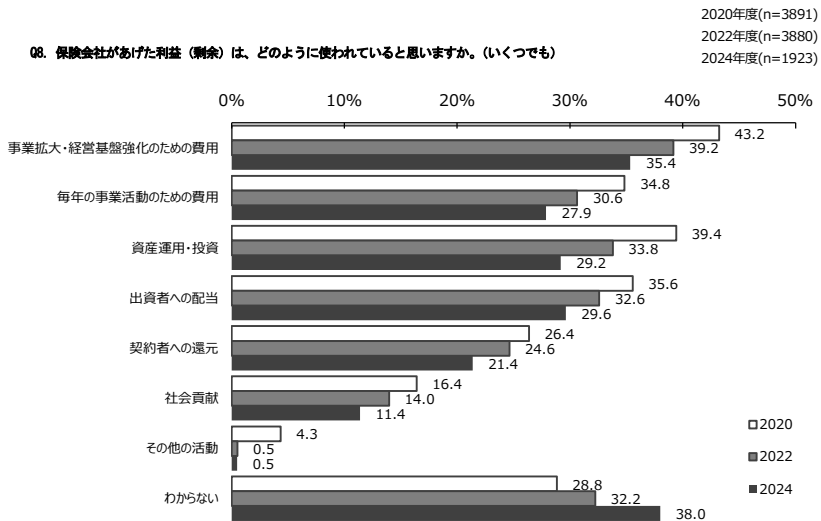
図表Ⅲ－5 共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているか（Q7）



6. 保険会社があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

「保険会社があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。（いくつでも）」との質問に対し、「わからない」とする割合が上昇し、その他の選択肢の割合はすべて低下した。

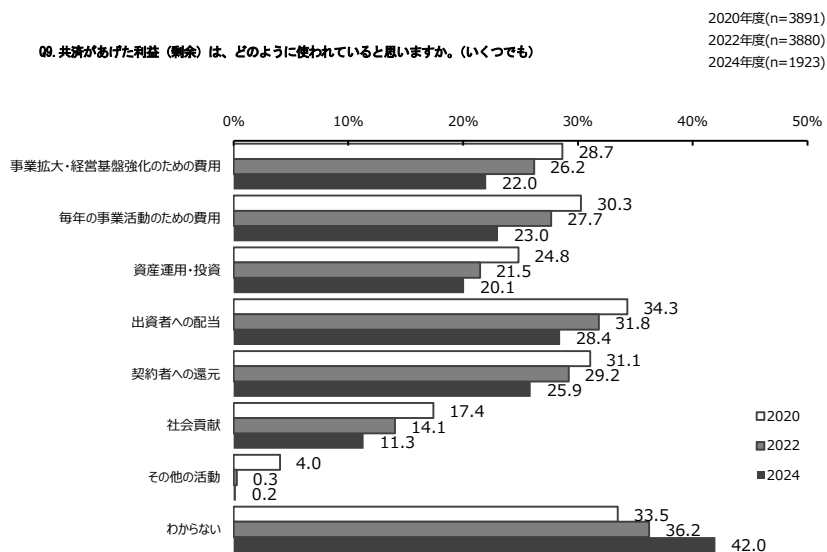
図表Ⅲ－6 保険会社の利益使途にかかるイメージ（Q8）



7. 共済があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

「共済があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。（いくつでも）」との質問に対し、「わからない」とする割合が上昇し、その他の選択肢の割合はすべて低下した。

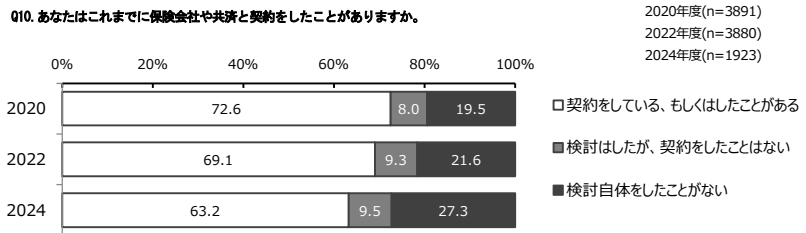
図表Ⅲ－7 共済の利益使途にかかるイメージ（Q9）



8. 保険や共済の契約経験の有無

「これまでに保険会社や共済と契約をしたことがありますか。」との質問に対し、「契約をしている、もしくはしたことがある」とする割合は低下した。

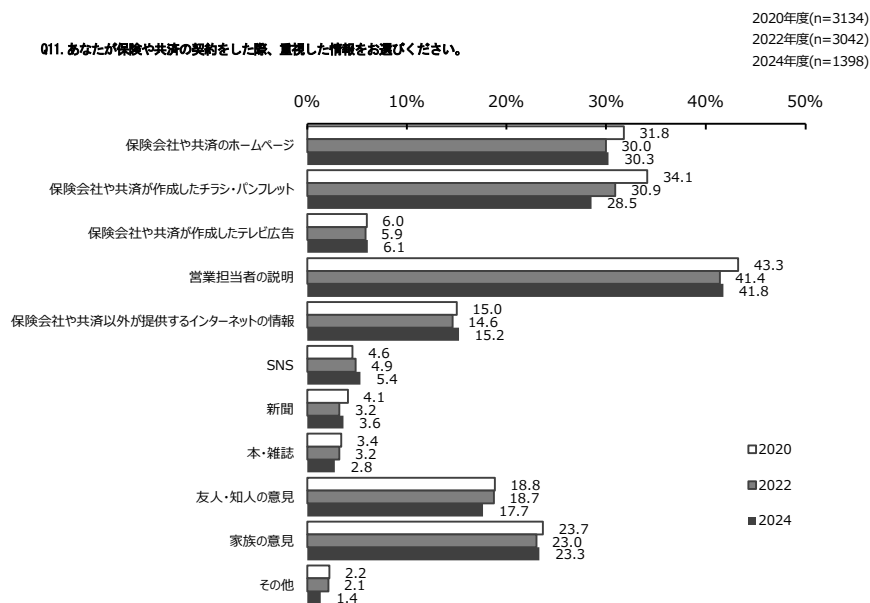
図表Ⅲ－8 保険や共済の契約経験の有無（Q10）



9. 契約を検討した際に重視した情報

「あなたが保険や共済の契約を検討した際、重視した情報をお選びください。(いくつでも)」との質問に対し、最も回答が多かった3つの選択肢のうち「営業担当者の説明」「保険会社や共済のホームページ」は前回調査からわずかに上昇したが、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」は2020年度の調査開始以降において連続して低下している。また、「SNS」を重視した人の割合はわずかではあるものの連続して上昇してきている。

図表Ⅲ－9 保険や共済の契約を検討した際に重視した情報（Q11）

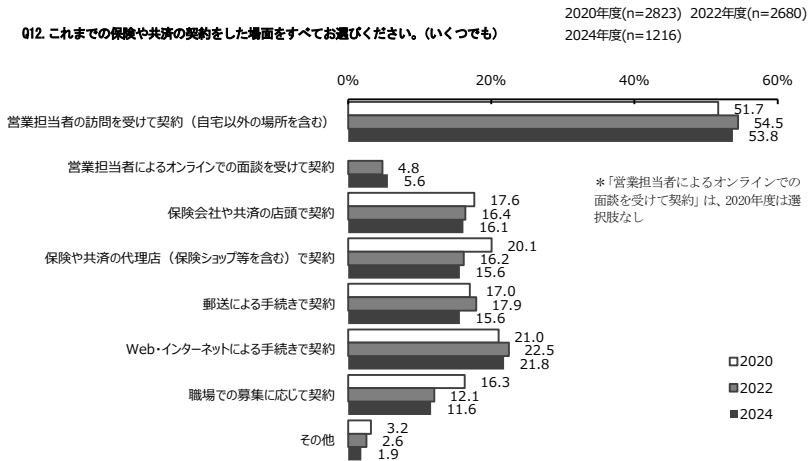


* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことがない」とした方のみ回答

10. これまでに保険や共済の契約をした場面

「これまでの保険や共済の契約をした場面をすべてお選びください。(いくつでも)」との質問に対し、前回調査との比較では「営業担当者によるオンラインでの面談を受けて契約」の割合がやや上昇したが、他の選択肢では全てがやや低下した。

図表Ⅲ－10 保険・共済の契約場面（Q12）

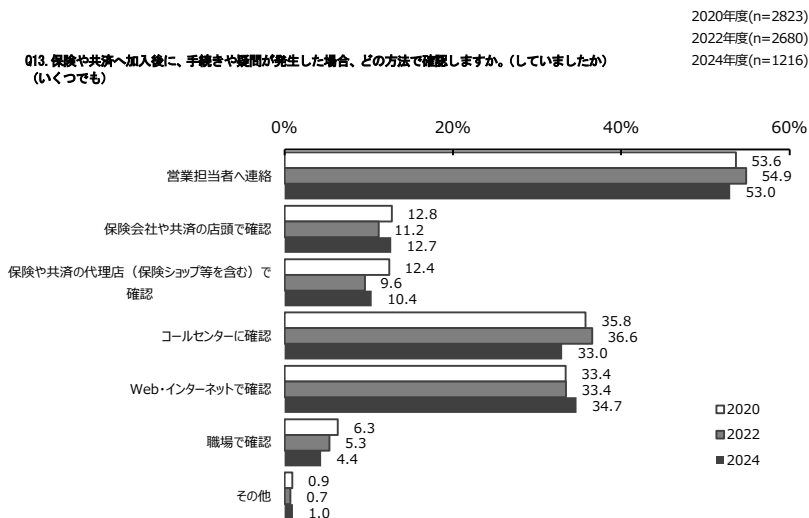


* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

11. 加入後の疑問の確認方法

「保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか（していましたか）。（いくつでも）」との質問に対し、前回調査との比較では、「保険会社や共済の店頭で確認」「保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）」「Web・インターネットで確認」が上昇した。また、「営業担当者へ連絡」「コールセンターに確認」「職場で確認」は低下した。

図表Ⅲ－11 保険・共済加入後の疑問の確認方法（Q13）

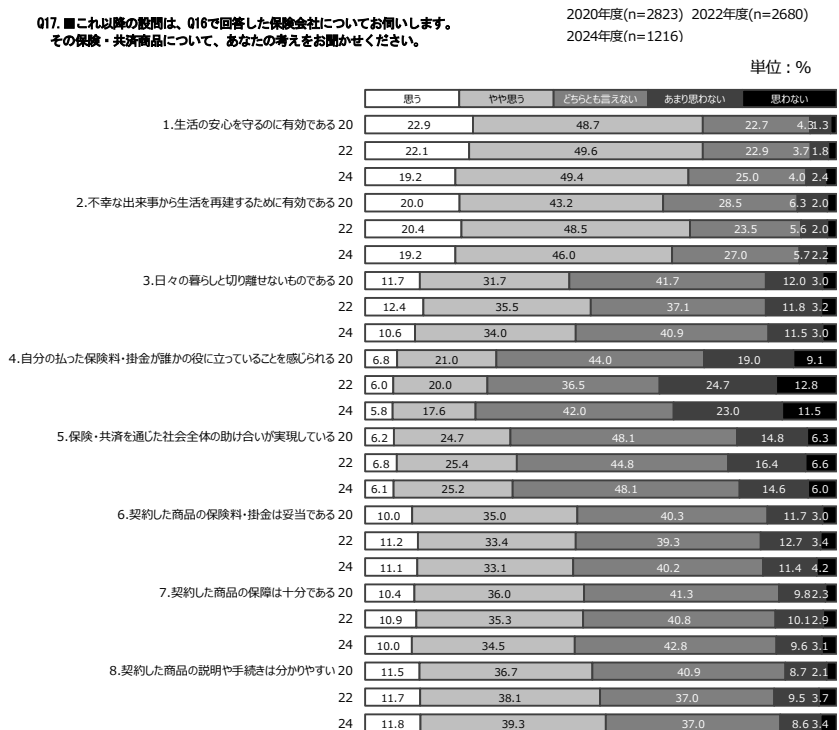


* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

12. 実際に契約している保険・共済商品への考え

回答者が実際に契約をしている保険・共済商品への考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、調査開始以降において、「8. 契約した商品の説明や手続きは分かりやすい」が上昇し、「4. 自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる」「6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である」「7. 契約した商品の保障は十分である」は低下してきている。他の選択肢については、前回調査との比較では低下している。

図表Ⅲ－12 保険・共済商品についての考え<最新の契約について> (Q17)



* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

13. 実際に契約している保険・共済商品の提供企業への考え

回答者が実際に契約をしている保険・共済商品の提供企業についての考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、調査開始以降、「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」「6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している」は上昇し、「2. 企業理念に共感ができる」は低下してきている。また、調査開始以降、「1. 会社の経営が健全である」はほぼ変化がなかった。

図表Ⅲ-13-1 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について> (Q18)

Q18. その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。

2020年度(n=2823) 2022年度(n=2680)

2024年度(n=1216)

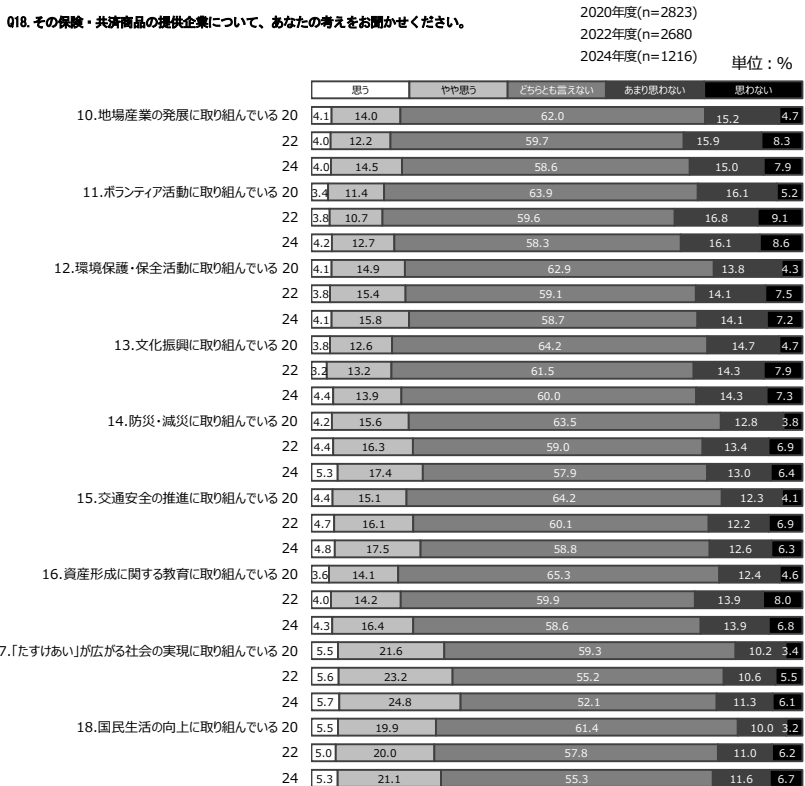
単位：%

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1. 会社の経営が健全である	20	14.9	43.0	37.8	3.4
	22	17.1	40.9	37.6	3.0
	24	15.4	42.5	37.7	3.3
2. 企業理念に共感ができる	20	6.9	26.8	58.5	6.2
	22	6.5	25.9	58.4	6.5
	24	6.2	25.6	58.1	7.2
3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	20	19.7	40.2	36.5	2.9
	22	23.6	39.1	33.0	3.0
	24	21.8	40.3	33.2	3.2
4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	20	12.1	35.3	44.4	6.6
	22	12.8	32.5	43.6	8.3
	24	12.8	34.1	41.9	8.3
5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	20	9.9	32.6	50.9	5.6
	22	10.6	32.6	46.8	7.9
	24	9.5	34.2	47.2	7.1
6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	20	10.5	36.1	45.9	6.2
	22	11.8	37.6	41.6	6.9
	24	12.7	39.0	39.4	6.5
7. 契約者の声を大切にしている	20	8.3	25.3	57.5	7.3
	22	8.6	24.3	56.0	8.7
	24	8.5	24.9	55.4	7.7
8. 説明や手続きに来る人が信頼できる	20	12.1	29.4	49.9	6.4
	22	13.8	29.2	47.2	6.4
	24	12.9	29.9	47.3	6.3
9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	20	4.4	15.1	63.2	13.1
	22	4.6	13.5	59.3	15.5
	24	4.8	16.4	55.6	16.1

* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

また、調査開始以降、わずかずつではあるが「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」「14. 防災・減災に取り組んでいる」「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」といった社会貢献的な活動への評価が上昇してきている。

図表Ⅲ－13－2 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>(Q18)



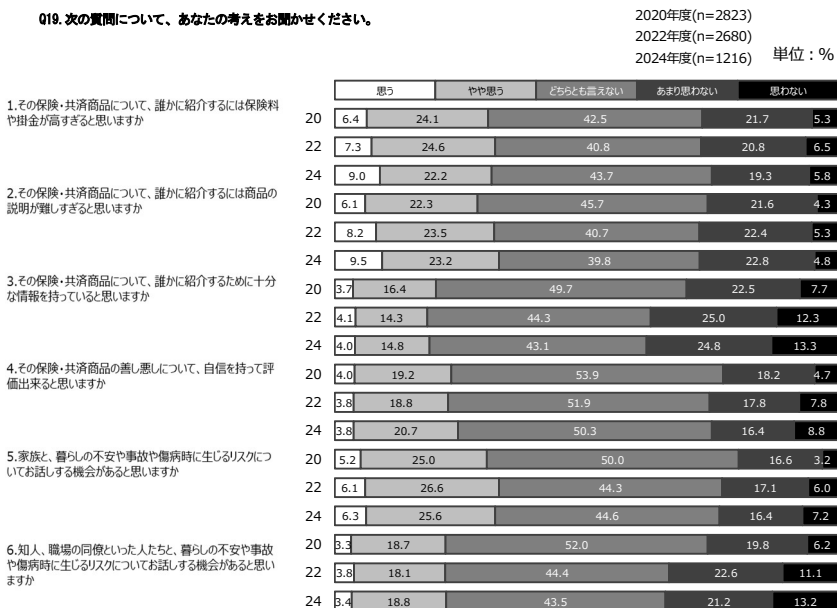
* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

14. 実際に契約している最も新しい契約についての考え

回答者が実際に契約をしている最も新しい保険・共済商品への考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、調査開始以降、「2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いますか」は、上昇してきている。

他の選択肢については、ほぼ横ばいとなっている。

図表Ⅲ－14 保険・共済への考え<最新の契約について> (Q19)



* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

15. 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての満足度

実際に契約している契約のうち最も新しい契約・提供企業について、「満足」「やや満足」の合計で見ると、前回調査との比較では、商品・提供企業ともに、満足度はほぼ横ばいとなった。

図表Ⅲ－15 保険・共済の満足度＜最新の契約について＞（Q20）

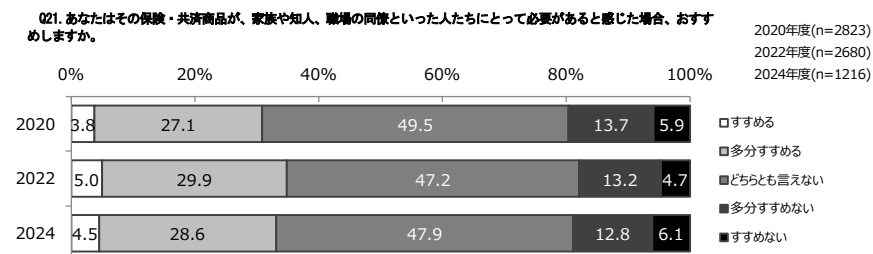
		2020年度(n=2823)					2022年度(n=2680)					2024年度(n=1216)				
		満足		やや満足		どちらとも言えない	やや不満足		不満足	満足		やや満足		どちらとも言えない	やや不満足	
Q20. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。		単位：%														
1.その保険・共済商品についての満足度を教えてください	20	10.0	44.6		37.1	6.8	1.5									
	22	9.8	41.9		38.4	8.4	1.5									
	24	10.5	41.9		38.1	6.9	2.6									
2.その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください	20	8.8	39.3		44.1	6.3	1.5									
	22	8.7	35.9		46.0	7.7	1.7									
	24	8.6	36.3		46.1	6.1	2.9									

* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

16. 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての推奨意向

実際に契約している最も新しい保険・共済商品が、「家族や知人、職場の同僚といった人たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。」との質問について、前回調査との比較では「すすめる」「多分すすめる」を合わせた割合は、やや低下した。

図表Ⅲ－16 保険・共済の推奨意向<最新の契約について> (Q21)



* Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

資料編 単純集計結果

「共済事業にかかるとの認知度等調査（2024年度）」の単純集計

Q 1. あなたのお仕事についてお選びください。（単一回答）

	n	%
全体	1923	100.0
自営業	117	6.1
正規の職員・従業員	867	45.1
契約社員、パート、アルバイト、嘱託	426	22.2
派遣労働者	39	2.0
役員	21	1.1
その他	37	1.9
自ら収入を得る仕事はしていない	416	21.6

Q 2. あなたの同居者について、該当する方をお選びください。義理の関係も含めてお選びください。（いくつでも）

	n	%
全体	1923	100.0
配偶者・パートナー	1092	56.8
親	452	23.5
子（未就学児）	204	10.6
子（小学生・中学生）	252	13.1
子（高校生以上の学生）	165	8.6
子（社会人）	212	11.0
孫	14	0.7
その他	104	5.4
同居人はいない	402	20.9

Q3. あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

	n -%	該 当 し な い	あ ま り 該 当 し な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や 該 当 す る	該 当 す る
1.環境に配慮した生活を送りたい	1923 100.0	122 6.3	227 11.8	633 32.9	737 38.3	204 10.6
2.自然と親しむのが好きだ	1923 100.0	110 5.7	242 12.6	583 30.3	696 36.2	292 15.2
3.健康管理には気をつけている方だ	1923 100.0	68 3.5	231 12.0	582 30.3	777 40.4	265 13.8
4.地域活動やボランティア活動に取り組みたい	1923 100.0	424 22.0	541 28.1	623 32.4	268 13.9	67 3.5
5.社会貢献に関心がある	1923 100.0	321 16.7	483 25.1	657 34.2	366 19.0	96 5.0
6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる	1923 100.0	163 8.5	281 14.6	563 29.3	736 38.3	180 9.4
7.流行に敏感な方だ	1923 100.0	387 20.1	548 28.5	636 33.1	287 14.9	65 3.4
8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ	1923 100.0	130 6.8	349 18.1	670 34.8	640 33.3	134 7.0
9.伝統や常識を重んじる方だ	1923 100.0	134 7.0	315 16.4	732 38.1	617 32.1	125 6.5
10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ	1923 100.0	86 4.5	238 12.4	926 48.2	525 27.3	148 7.7
11.多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ	1923 100.0	274 14.2	526 27.4	785 40.8	278 14.5	60 3.1
12.通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ	1923 100.0	142 7.4	340 17.7	806 41.9	534 27.8	101 5.3
13.総じて価格重視で安いものを選んでいる	1923 100.0	65 3.4	248 12.9	682 35.5	668 34.7	260 13.5
14.多少高くても品質の良いものを選ぶ	1923 100.0	86 4.5	351 18.3	797 41.4	579 30.1	110 5.7
15.商品を買う前に色々情報を集めてから買う	1923 100.0	58 3.0	160 8.3	546 28.4	831 43.2	328 17.1
16.購入のしやすさで商品を選ぶことが多い	1923 100.0	60 3.1	211 11.0	777 40.4	762 39.6	113 5.9
17.売れ筋商品を選ぶことが多い	1923 100.0	84 4.4	282 14.7	836 43.5	637 33.1	84 4.4
18.商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ	1923 100.0	133 6.9	389 20.2	769 40.0	548 28.5	84 4.4
19.他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ	1923 100.0	46 2.4	226 11.8	795 41.3	630 32.8	226 11.8

Q 4. 日常生活において、あなたが気がかりや不安に思ったりすることを選びください。(いくつでも)

	n	%
全体	1923	100.0
感染症や治療・治癒が困難な病気にかかる費用	622	32.3
災害時における住宅被害にかかる費用	587	30.5
自動車に関する事故やトラブルにかかる費用	480	25.0
損害賠償等のトラブルにかかる費用	285	14.8
子供の養育・教育にかかる費用	371	19.3
老親介護にかかる費用（親が同居していない場合も含む）	525	27.3
老後の生活にかかる費用	1104	57.4
収入や資産に関すること	839	43.6
負債（借金・住宅ローン等）に関すること	227	11.8
その他：	11	0.6
気がかりや不安はない	338	17.6

Q 5. 保険や共済のしくみは相互扶助（たすけあい）の精神からはじまったと言われてしています。助け合いは、あなたにとって重要ですか。(単一回答)

	n	%
全体	1923	100.0
そう思う	1038	54.0
そう思わない	195	10.1
どちらとも言えない	690	35.9

Q 6. 助け合いが重要だとお考えになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

【Q 5で「そう思う」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1038	100.0
病気やけがにより日常生活に支障が出た	317	30.5
自然災害の被害を受けた	180	17.3
失業等による経済状況の悪化に見舞われた	137	13.2
自分以外の人の困った姿を見て	388	37.4
自分の思想・信条	239	23.0
親や家族や学校等での教育	188	18.1
その他：	7	0.7
特に思い当たるきっかけはない	209	20.1

Q 7. 共済に入るには、原則として協同組合の組合員であることが必要だと知っていますか。(単一回答)

	n	%
全体	1923	100.0
知っている	784	40.8
知らない	1139	59.2

Q 8. **保険会社**があげた利益(剰余)は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	1923	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	680	35.4
毎年の事業活動のための費用	536	27.9
資産運用・投資	561	29.2
出資者への配当	570	29.6
契約者への還元	411	21.4
社会貢献	219	11.4
その他の活動:	9	0.5
わからない	731	38.0

Q 9. **共済**があげた利益(剰余)は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	1923	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	423	22.0
毎年の事業活動のための費用	443	23.0
資産運用・投資	386	20.1
出資者への配当	547	28.4
契約者への還元	498	25.9
社会貢献	218	11.3
その他の活動:	4	0.2
わからない	807	42.0

Q10. あなたはこれまでに保険会社や共済と契約をしたことがありますか。

(単一回答)

	n	%
全体	1923	100.0
契約をしている、もしくはしたことがある	1216	63.2
検討はしたが、契約をしたことはない	182	9.5
検討自体をしたことがない	525	27.3

Q11. あなたが保険や共済の契約を検討した際、重視した情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1398	100.0
保険会社や共済のホームページ	423	30.3
保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット	399	28.5
保険会社や共済が作成したテレビ広告	85	6.1
営業担当者の説明	584	41.8
保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報	213	15.2
SNS	75	5.4
新聞	51	3.6
本・雑誌	39	2.8
友人・知人の意見	247	17.7
家族の意見	326	23.3
その他：	19	1.4

Q12. これまでの保険や共済の契約をした場面をすべてお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）	654	53.8
営業担当者によるオンラインでの面談を受けて契約	68	5.6
保険会社や共済の店頭で契約	196	16.1
保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で契約	190	15.6
郵送による手続きで契約	190	15.6
Web・インターネットによる手続きで契約	265	21.8
職場での募集に応じて契約	141	11.6
その他：	23	1.9

Q13. 保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか（していましたか）。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
営業担当者へ連絡	644	53.0
保険会社や共済の店頭で確認	154	12.7
保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で確認	126	10.4
コールセンターに確認	401	33.0
Web・インターネットで確認	422	34.7
職場で確認	53	4.4
その他：	12	1.0

Q14. 保険会社や共済の経営状況や健全性、社会貢献活動などの情報は、ホームページやディスクロージャー誌、ファクトブックなどで公開されています。関心のある情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
組織の概要	181	14.9
事業の概況	280	23.0
契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況	469	38.6
決算関係書類・財務諸表・運用資産諸表など	192	15.8
経営の健全性に関わる状況	271	22.3
総会（総代会）の開催状況	48	3.9
社会貢献やSDGsなどの取組み状況	91	7.5
その他：	4	0.3
関心がない	509	41.9

Q15. あなたが実際に契約されている（されていた）保険会社や共済をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
日本生命	232	19.1
第一生命	166	13.7
明治安田生命	170	14.0
かんぽ生命	198	16.3
アフラック	230	18.9
メットライフ生命	115	9.5
ライフネット生命	26	2.1
その他の生命保険会社	408	33.6
東京海上日動火災	281	23.1
損害保険ジャパン	202	16.6
三井住友海上火災	123	10.1
共栄火災海上	12	1.0
あいおいニッセイ同和	103	8.5
ソニー損保	92	7.6
AIG損保	33	2.7
その他の損害保険会社	163	13.4
いずれかの少額短期保険会社	20	1.6
JA共済（農協の共済）	164	13.5
JF共済（漁協の共済）	5	0.4
こくみん共済 coop<全労済>	137	11.3
コープ共済（CO・OP共済）	120	9.9
都道府県民共済<全国生協連>	244	20.1
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済<中小企業共済、〇〇市民共済など>	43	3.5
その他の共済	39	3.2

Q16. あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」をひとつ選択してください。すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」をお選びください。（単一回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
日本生命	66	5.4
第一生命	51	4.2
明治安田生命	58	4.8
かんぽ生命	40	3.3
アフラック	78	6.4
メットライフ生命	45	3.7
ライフネット生命	11	0.9
その他の生命保険会社	178	14.6
東京海上日動火災	86	7.1
損害保険ジャパン	69	5.7
三井住友海上火災	36	3.0
共栄火災海上	2	0.2
あいおいニッセイ同和	35	2.9
ソニー損保	47	3.9
AIG損保	5	0.4
その他の損害保険会社	65	5.3
いずれかの少額短期保険会社	7	0.6
JA共済（農協の共済）	65	5.3
JF共済（漁協の共済）	1	0.1
こくみん共済 coop<全労済>	55	4.5
コープ共済（CO・OP共済）	55	4.5
都道府県民共済<全国生協連>	122	10.0
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済<中小企業共済、〇〇市民共済など>	14	1.2
その他の共済	25	2.1

※ これ以降の設問（Q17～Q21）は、Q16で回答した【あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」（すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」）】についてお伺いします。

Q17. その保険・共済商品について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n -%	思 わ な い	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や 思 う	思 う
1. 生活の安心を守るのに有効である	1216 100.0	29 2.4	49 4.0	304 25.0	601 49.4	233 19.2
2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である	1216 100.0	27 2.2	69 5.7	328 27.0	559 46.0	233 19.2
3. 日々の暮らしと切り離せないものである	1216 100.0	36 3.0	140 11.5	497 40.9	414 34.0	129 10.6
4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	1216 100.0	140 11.5	280 23.0	511 42.0	214 17.6	71 5.8
5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	1216 100.0	73 6.0	177 14.6	585 48.1	307 25.2	74 6.1
6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である	1216 100.0	51 4.2	139 11.4	489 40.2	402 33.1	135 11.1
7. 契約した商品の保障は十分である	1216 100.0	38 3.1	117 9.6	520 42.8	420 34.5	121 10.0
8. 契約した商品の説明や手続きは分かりやすい	1216 100.0	41 3.4	104 8.6	450 37.0	478 39.3	143 11.8
9. 商品を契約したことで、あなたの周囲に安心を与えられたと感じられる	1216 100.0	45 3.7	140 11.5	497 40.9	418 34.4	116 9.5
10. 商品を契約することを、あなたの周囲から求められていたと感じられる	1216 100.0	114 9.4	241 19.8	580 47.7	206 16.9	75 6.2

Q18. その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n -%	思 わ な い	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や 思 う	思 う
1.会社の経営が健全である	1216 100.0	14 1.2	40 3.3	458 37.7	517 42.5	187 15.4
2.企業理念に共感ができる	1216 100.0	35 2.9	88 7.2	707 58.1	311 25.6	75 6.2
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	1216 100.0	18 1.5	39 3.2	404 33.2	490 40.3	265 21.8
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	1216 100.0	34 2.8	101 8.3	510 41.9	415 34.1	156 12.8
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	1216 100.0	24 2.0	86 7.1	574 47.2	416 34.2	116 9.5
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	1216 100.0	30 2.5	79 6.5	479 39.4	474 39.0	154 12.7
7.契約者の声を大切にしている	1216 100.0	42 3.5	94 7.7	674 55.4	303 24.9	103 8.5
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	1216 100.0	43 3.5	77 6.3	575 47.3	364 29.9	157 12.9
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	1216 100.0	87 7.2	196 16.1	676 55.6	199 16.4	58 4.8
10.地場産業の発展に取り組んでいる	1216 100.0	96 7.9	183 15.0	712 58.6	176 14.5	49 4.0
11.ボランティア活動に取り組んでいる	1216 100.0	105 8.6	196 16.1	709 58.3	155 12.7	51 4.2
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	1216 100.0	88 7.2	172 14.1	714 58.7	192 15.8	50 4.1
13.文化振興に取り組んでいる	1216 100.0	89 7.3	174 14.3	730 60.0	169 13.9	54 4.4
14.防災・減災に取り組んでいる	1216 100.0	78 6.4	158 13.0	704 57.9	211 17.4	65 5.3
15.交通安全の推進に取り組んでいる	1216 100.0	77 6.3	153 12.6	715 58.8	213 17.5	58 4.8
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	1216 100.0	83 6.8	169 13.9	712 58.6	200 16.4	52 4.3
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	1216 100.0	74 6.1	138 11.3	634 52.1	301 24.8	69 5.7
18.国民生活の向上に取り組んでいる	1216 100.0	81 6.7	141 11.6	673 55.3	256 21.1	65 5.3

Q19. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n - %	思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	思う
1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思えますか	1216 100.0	71 5.8	235 19.3	531 43.7	270 22.2	109 9.0
2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思えますか	1216 100.0	58 4.8	277 22.8	484 39.8	282 23.2	115 9.5
3. その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思えますか	1216 100.0	162 13.3	301 24.8	524 43.1	180 14.8	49 4.0
4. その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価できると思えますか	1216 100.0	107 8.8	199 16.4	612 50.3	252 20.7	46 3.8
5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思えますか	1216 100.0	87 7.2	200 16.4	542 44.6	311 25.6	76 6.3
6. 知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思えますか	1216 100.0	160 13.2	258 21.2	529 43.5	228 18.8	41 3.4

Q20. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n - %	不満足	やや不満足	どちらとも言えない	やや満足	満足
1. その保険・共済商品についての満足度を教えてください	1216 100.0	32 2.6	84 6.9	463 38.1	509 41.9	128 10.5
2. その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください	1216 100.0	35 2.9	74 6.1	561 46.1	441 36.3	105 8.6

Q21. あなたはその保険・共済商品が、家族や知人、職場の同僚といった人々たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。(単一回答)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	1216	100.0
すすめない	74	6.1
多分すすめない	156	12.8
どちらとも言えない	583	47.9
多分すすめる	348	28.6
すすめる	55	4.5

Q22. あなたが保険・共済商品についてお持ちのイメージをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」、「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n -%	思 わ な い	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や 思 う	思 う
1.生活の安心を守るのに有効である	707 100.0	43 6.1	75 10.6	339 47.9	199 28.1	51 7.2
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	707 100.0	41 5.8	78 11.0	321 45.4	211 29.8	56 7.9
3.日々の暮らしと切り離せないものである	707 100.0	57 8.1	101 14.3	377 53.3	143 20.2	29 4.1
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	707 100.0	91 12.9	129 18.2	360 50.9	105 14.9	22 3.1
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	707 100.0	53 7.5	99 14.0	399 56.4	130 18.4	26 3.7
6.保険料・掛金は妥当である	707 100.0	65 9.2	104 14.7	392 55.4	123 17.4	23 3.3
7.保障は十分である	707 100.0	58 8.2	91 12.9	415 58.7	117 16.5	26 3.7
8.商品の説明や手続きは分かりやすい	707 100.0	69 9.8	124 17.5	390 55.2	93 13.2	31 4.4
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	707 100.0	55 7.8	103 14.6	387 54.7	132 18.7	30 4.2
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	707 100.0	92 13.0	128 18.1	384 54.3	85 12.0	18 2.5

Q23. あなたが保険・共済商品の提供企業についてお持ちのイメージをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」、「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n -%	思 わ な い	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や 思 う	思 う
1.会社の経営が健全である	707 100.0	45 6.4	70 9.9	416 58.8	137 19.4	39 5.5
2.企業理念に共感ができる	707 100.0	57 8.1	98 13.9	410 58.0	122 17.3	20 2.8
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	707 100.0	46 6.5	84 11.9	377 53.3	167 23.6	33 4.7
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	707 100.0	46 6.5	111 15.7	413 58.4	119 16.8	18 2.5
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	707 100.0	40 5.7	94 13.3	410 58.0	132 18.7	31 4.4
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	707 100.0	51 7.2	101 14.3	422 59.7	107 15.1	26 3.7
7.契約者の声を大切にしている	707 100.0	51 7.2	94 13.3	418 59.1	118 16.7	26 3.7
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	707 100.0	55 7.8	84 11.9	423 59.8	116 16.4	29 4.1
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	707 100.0	59 8.3	95 13.4	427 60.4	102 14.4	24 3.4
10.地場産業の発展に取り組んでいる	707 100.0	60 8.5	102 14.4	417 59.0	107 15.1	21 3.0
11.ボランティア活動に取り組んでいる	707 100.0	65 9.2	108 15.3	405 57.3	103 14.6	26 3.7
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	707 100.0	62 8.8	97 13.7	408 57.7	113 16.0	27 3.8
13.文化振興に取り組んでいる	707 100.0	67 9.5	105 14.9	419 59.3	92 13.0	24 3.4
14.防災・減災に取り組んでいる	707 100.0	56 7.9	99 14.0	422 59.7	101 14.3	29 4.1
15.交通安全の推進に取り組んでいる	707 100.0	55 7.8	100 14.1	407 57.6	120 17.0	25 3.5
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	707 100.0	60 8.5	102 14.4	411 58.1	107 15.1	27 3.8
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	707 100.0	51 7.2	84 11.9	408 57.7	137 19.4	27 3.8
18.国民生活の向上に取り組んでいる	707 100.0	63 8.9	100 14.1	414 58.6	97 13.7	33 4.7

※ Q24については、エラーチェック用項目のため非掲載

Q25. あなたの年収（額面）をお選びください。（単一回答）

【Q1で「自営業」「正規の職員・従業員」「契約職員、パート、アルバイト、嘱託」「派遣労働者」「役員」「その他」とした方のみ】

	n	%
全体	1507	100.0
100万円未満	189	12.5
100万円以上～200万円未満	183	12.1
200万円以上～300万円未満	206	13.7
300万円以上～400万円未満	243	16.1
400万円以上～500万円未満	183	12.1
500万円以上～600万円未満	154	10.2
600万円以上～700万円未満	88	5.8
700万円以上～800万円未満	59	3.9
800万円以上～900万円未満	51	3.4
900万円以上～1,000万円未満	24	1.6
1,000万円以上～1,200万円未満	35	2.3
1,200万円以上～1,400万円未満	13	0.9
1,400万円以上～	25	1.7
収入はない	54	3.6

性別（単一回答）

	n	%
全体	1923	100.0
男性	967	50.3
女性	956	49.7

年齢（回答は数字入力）

	n	%
全体	1923	100.0
20代	321	16.7
30代	346	18.0
40代	421	21.9
50代	449	23.3
60代	386	20.1

性別・年代別

	n	%
全体	1923	100.0
男性 20代	166	8.6
男性 30代	175	9.1
男性 40代	213	11.1
男性 50代	222	11.5
男性 60代	191	9.9
女性 20代	155	8.1
女性 30代	171	8.9
女性 40代	208	10.8
女性 50代	227	11.8
女性 60代	195	10.1

都道府県（単一回答）

	n	%
全体	1923	100.0
北海道	69	3.6
青森県	22	1.1
岩手県	22	1.1
宮城県	36	1.9
秋田県	18	0.9
山形県	17	0.9
福島県	28	1.5
茨城県	43	2.2
栃木県	31	1.6
群馬県	31	1.6
埼玉県	104	5.4
千葉県	88	4.6
東京都	211	11.0
神奈川県	135	7.0
新潟県	34	1.8
富山県	19	1.0
石川県	18	0.9
福井県	15	0.8
山梨県	18	0.9
長野県	32	1.7
岐阜県	29	1.5
静岡県	50	2.6
愛知県	108	5.6
三重県	28	1.5
滋賀県	23	1.2
京都府	39	2.0
大阪府	121	6.3
兵庫県	72	3.7
奈良県	24	1.2
和歌山県	17	0.9
鳥取県	11	0.6
島根県	16	0.8
岡山県	28	1.5
広島県	42	2.2
山口県	22	1.1
徳島県	16	0.8
香川県	20	1.0
愛媛県	22	1.1
高知県	16	0.8
福岡県	71	3.7
佐賀県	15	0.8
長崎県	22	1.1
熊本県	27	1.4
大分県	20	1.0
宮崎県	20	1.0
鹿児島県	25	1.3
沖縄県	28	1.5
国外	0	0.0